

登録コード	F3A61540	開講年度	2026				
授業科目	応用リサーチプロジェクト					担当教員	KIM KYOUNG HOU 他
英文授業名	Applied Research Project					副担当	丸 弘樹・金井 博幸・ZHU CHUNHONG・富澤 鍊・児山 祥平
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	先進繊維工学コース4年
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	2 2 Fカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学、人文科学、社会科学を横断的に取り込める普遍的基礎学力					⇔	本授業は卒業研究と平行して共同研究に取り組む4年次生に対して実施する。指導教員、共同研究者のもとで先進繊維工学に関する研究課題に取り組み、俯瞰的観点と実践的研究スキルの涵養をねらいとする。
	2 6 Fカリ・先進感性・先進織コース, 2 5 Fカリ・先進感性・先進織コース, 2 4 Fカリ・先進感性・先進織コース, 2 3 Fカリ・先進感性・先進織コース						
	【2023年度以降カリキュラム対象】モノづくりの基本である「工学的アプローチ」能力および自然科学、人文科学、社会科学を横断的に取り込める能力					⇔	本授業は卒業研究と平行して共同研究に取り組む4年次生に対して実施する。指導教員、共同研究者のもとで先進繊維工学に関する研究課題に取り組み、俯瞰的観点と実践的研究スキルの涵養をねらいとする。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	指導教員、共同研究者の指導の下に、先進繊維工学に関する研究トピックを設定し、以下の3項目に取り組む。 計画した内容をスケジュールに沿って実行する。						
(5)授業計画	指導教員、共同研究者の指導の指導の下に、先進繊維工学に関する研究トピックを設定し、以下の3項目に取り組む。 (1) 文献調査に基づく研究計画の作成 (2) 実験または創造的活動の実践 (3) 論文、発表資料、または成果物の作成 なお、活動時間の目安は、週2時間（または1時限）以上とし計画的かつ主体的に取り組むこと。						
(6)成績評価の方法	共同研究者が参加する成果報告会を開催し、受講者本人による成果報告を実施する。また、内容に関する質疑を行う。 指導教員は、期間中の活動、成果報告会における対応を考慮して成績案を決定し、最終報告資料とともに成績認定の審議を依頼する。最終成績は指導教員の成績案に基いてコース教員の合議により決定する。 ・						
(7)成績評価の基準	「成績評価の方法」の項に記載の内容について100点満点で評価する。 秀：90点以上で、授業の達成目標の水準から見て卓越している 優：80-89点で、授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良：70-79点で、授業の達成目標の水準よりやや上にある 可：60-69点で、授業の達成目標の水準にある 不可（D）：50-59点で、授業の達成目標の水準よりやや下にある 不可（F）：49点以下で、授業の達成目標の水準にない						
(8)事前事後学習の内容	課題に関連する先行研究や関連研究の文献収集を自ら行い、それらの内容を理解した上で授業に臨むこと。また、毎回与えられた課題に対する対応を行うこと。						
(9)履修上の注意	本講義の履修を希望する場合は、研究室配属後に指導教員に履修の希望を伝えた上で、本講義の単位認定の主旨に対して、計画する共同研究が要件を満たすか否か必ず確認すること。 講義登録は、指導教員の許可を得て行うこと。また、共同研究終了後の最終報告会の状況を加味して単位認定および成績が決定されるため、本講義を卒業単位として参入する計画がある場合は、最終的に単位認定されない可能性がありえること考慮して余裕をもった計画とすること。						
(10)質問,相談への対応	随時受け付ける。						
(11)学生へのメッセージ							
(12)その他							
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	指定しない。						